

# ① 「水平社宣言」とは!?

3月3日…  
「ひな祭り?」  
「耳の日?」

それも正解  
だけど…ヒント  
①1922年  
②人の世に熱あれ、  
人間に光あれ

分かった。  
水平社宣言だね。  
3月3日に  
出されたの?  
知らなかったよ。

そう、1922年3月3日なの。  
今年は2022年。つまり、  
水平社宣言が出されて**100年!**  
どんな宣言なのか一緒に  
みてみましょう。



## 水平社宣言（現代語版）

全国に散らばっている、われわれ差別を受けている人々よ、団結せよ。

長い間、いじめられてきた仲間たちよ、解放令がだされてから約50年の間、われわれのためとって、多くの人々が様々な方法で行った運動は、効果をもたらすものではなかった。同情やあわれみに根ざした運動では差別はなくなるのだ。このことを思えば、今、われわれ自身から人間を尊敬することによって、自ら自由と平等を求める集団運動をおこすのは、当然のことである。



「全国水平社創立大会のピラ」  
奈良県 水平社博物館蔵

仲間たちよ、われわれの祖先は、自由と平等を心から求め実行してきた者であった。厳しい支配政策の犠牲者であり、たくましく社会や文化を支えてきた者であった。心を引き裂かれるようなどんなに厳しい差別の中でも、人間としての誇りは失わなかった。そして、今、その犠牲者のわれわれが、差別を投げ返す時がきたのだ。われわれが、差別を受けてきた者であることを誇りうる時がきたのだ。

われわれは、自分自身を低くみたり、臆病になったりして、これまでたくましく生きてきた祖先をはずかしめたり、人間の尊厳をおかしたりしてはならない。人の世がどんなに冷たいか、人間を大切にすることが本当はどんなことであるかを知っているからこそ、われわれは、心から人生の熱と光を求め、その実現をめざすものである。

水平社はこのように生まれた。人の世に熱あれ、人間に光あれ。

1922年(大正11年) 3月3日 全国水平社創立大会



水平社宣言(原文)がこちら



江戸時代の身分制度に  
おいて差別された人々は、  
明治維新の「解放令」によって  
身分は平等とされたけれど、  
偏見や差別を解消するための  
具体的な政策は行われず、  
人々の間に差別意識が残って、  
部落差別はなくならなかったの。  
そのような中、大正時代になる  
と、労働者や女性等が自由・  
平等を求める運動を起し、  
部落差別を受けてきた人々も  
差別からの解放を求める運動を  
進めていくの。そして1922年  
3月3日、全国各地から3000  
人ともいわれる人々が京都に  
集まり全国水平社を結成し、  
創立大会で読み上げられたのが  
「水平社宣言」なの。